

社協のマーク



社会福祉協議会

尾崎支部だより

No.36

平成19年1月15日発行

各務原市社会福祉協議会

尾崎支部広報委員会

「安心して暮らせる福祉のまち尾崎」をめざして

各務原市社会福祉協議会 尾崎支部

支部長 林 光吉

新年あけましておめでとうございます。

社協尾崎支部では昨年、自治会や各種団体と協力しつつ、地域の皆様が助け合いの心を持って、互いに支えあい安心して暮らせる福祉の町づくりを目指して各種の事業を実施してまいりました。昨年八月には尾崎地区全世帯に対し「ボランティアハウス・コスモスの里」のボランティア募集のお願いに併せて「地域福祉に関する意見」を求めました。

その結果、次のようなご意見が寄せられました。

◎高齢者の見守り、日常生活の手助けに関して

- 高齢者から
 - 一、一人暮らしの老人の話相手になってほしい。
 - 二、西町も老人世帯が多くなっている。手助け、見守りを充実してほしい。

◎見守る側からの意見

- 一、近隣で情報交換して、閉じこもり高齢者への呼びかけに参加しやすい工夫を。
- 二、見守り活動に若い人の参加がほしい。
- 三、近隣ケアグループがあるが、活動していないところがある。

◎子育て支援に関して

共働きで、子どもが熱を出したとき、残業時など子どもを預かってくれる施設が欲しい。

◎健康、生きがいに関して

- 一、互いの声かけ、助け合いが大切。
- 二、健康の秘訣は、外に出て人と接すること。(皆との楽しいお喋りはボケ防止につながります。)

◎支部スタッフの充実

尾崎には素晴らしい能力を持った人材は沢山いる。いかにしてこの方々を目覚めさせるかが、課題である。

― Q & A ―

Q 子育て支援関連

A 社会福祉協議会の「ファミリーサポートセンター」があります。乳幼児から小学校3年生までの子どもを預かります。早朝、夜間もOKですが、子どもの宿泊はおこないません。一時間単位の有料制度です。利用ご希望の方は事前に「社協地域福祉係 〇五八―三八三―七六一〇」までお電話ください。

Q 市の老人ケア施設が那加の飛鳥美谷苑の近くに出来るとの事だが、完成時期、入所条件など知りたい。

A 市の所管は高齢福祉課で、昨年十二月二十六日に竣工式を行いました。この施設は「養護老人ホーム」で、健康で身寄りのある高齢者は入所資格が無く、入所は全て民生委員を通じて、入所判定委員会の審査を得て決定されます。既に満員で、入所待機状態とのこと。

Q 那加扇平の墓地公園の工事が進み、近く分譲されると聞くと、その内容を知りたい。

A 市の所管は生活環境課です。十九年の春過ぎ五〜六月頃に市の広報誌で「墓地分譲のお知らせ」を出すのでそれを見て応募してほしいとのこと。

以上、身近な問題に限ってお示しました。社協尾崎支部として意見に示された課題に向けて住民の皆様生き甲斐、健康への機会づくりとその支援、情報の収集と提供、自治会をはじめ諸団体との連携に努めます。自治会や近隣ケアグループの一層の支援も大いに期待されるでしょう。今年も、社協スタッフ一同頑張りますので、一層のご協力ご支援をお願いします。

「ぬくもりと やすあざあふれる 我が街 尾崎」

平成19年 民生・児童委員及び主任児童委員の紹介

民生児童委員

- 横山 三彦 北洞町 担当 那加北洞町
- 鳥居 奈智子 北洞町 担当 北町一、西町B一〜四
- 有我 尉 北洞町 担当 西町B一五〜一〇、C一九
- 谷野 雅夫 南町 担当 柄山町、南町一
- 西町C一五・六
- 小林 哲 北洞町 担当 北町三・四・五
- 山下 幸子 南町 担当 北町六・七、南町五・六
- 丹下 時子 南町 担当 南町三・四
- 高瀬 智恵 北洞町 担当 西町A一七〜二〇
- 川島 孝恵 北洞町 担当 北町二、西町A一五・六
- 増田 光世 南町 担当 西町A一三〜一六
- 担当 南町二、西町A一〜四

主任児童委員

- 白井 喜久枝 南町 担当 尾崎校区

相談してくれてありがとうございます!



こんにちは 民生委員・児童委員です

謹んで新年の御祝詞を申しあげます。

私達民生児童委員は子育て、福祉に関する相談相手です。皆さんが抱える、子育て不安、いじめ、親子関係、不登校、お年寄りの方々の問題等、一人で悩まないで、あなたの近くにいる民生児童委員に相談して下さい。

これからも尾崎社協、自治会、各種団体と共に信頼関係を深めて行きたいと思えます。

どうか、今年もよろしくお願いいたします。

民生児童委員 有我 尉

今後の行事予定

健康ウォーキング大会

日時：1月中旬

9：00～

(ふれあい会館前集合)

体振主催・社協共催



事務局からのお知らせ

年度	加入率(%)	金額(円)
17年度		
17年度	59.8	789,300
17年度	62.1	832,200

※今年度の会費及び会員募集の結果です。各務原市には社協支部が十七ありますが、尾崎は十六番目でした。会費の三五％は支部に還元され、支部の活動資金となります。一人でも多くの方が会員となり財源的なご協力を今後とも宜しくお願い致します。



宇井 進

【今月の一言】

支部社協は 楽しい老後を支える 地域の社交場



安心・安全な町づくりを推進しよう!!

歳末地域福祉座談会

平成十八年も残り少なくなった二月十日に、各務原市社会福祉協議会尾崎支部の超目玉事業である「歳末地域福祉座談会」が盛会のうちに開催され、終了しました。この事業は、歳末たすけあい運動の一環として、地域の中で何らかの援助が必要な人と支部役員等が話し合いの場を持ち、悩みや相談を聞くなど交流を深めることで、尾崎における福祉のまちづくりを進めることを目的とし、①八十五歳以上のひとり暮らしの高齢者、②高齢者夫婦（夫婦とも七十歳以上）等、主として高齢者の方を対象としている事業であります。今回も「演芸」と「座談会」の二部構成となりました。

今年、アマチュアバンド「ブルー・ベレーズ」の演奏に加え、「座談会」については「福祉座談会」と「各務原市コミュニティ会議」を併せ持った座談会としました。

例年、参加者約八十数名ですが、尾崎地域にも高齢化の波が押し寄せ、今年は、九三名の方が参加されました。「ブルー・ベレーズ」は平均年齢が六十代半ばというのに、元気な人達ばかりで、趣味に生きる人達の生き様を見ていようでした。素人とは思えない芸さばきで、会場と一緒に懐かしい歌を演奏、歌い、あっとい間時間だったように感じた一日でした。声を出すことは健康に良いとのこと。参加者は一歳も二歳も若返ったことと思います。また、「座談会」は谷村さんの軽妙な司会とともに、支部長、事務局長の助言もあり、多少アールコールも入ったせいか、日頃の思い、不安な事、困っている事、楽しんでる事、更には、尾崎の今後等と和気藹藹の内に進行し、有意義な「座談会」だったと自負しているところです。

今後共、皆さんのご意見をお聞きしながら、啓発に取り組んでいきたいと考えております。

啓発委員長 倉 武



挨拶する林支部長



ブルー・ベレーズの看板娘



社協顧問の古田市議



飛び入り参加の平林さん



会食風景



発表する参加者



名司会の谷村さん



発表する参加者

「脳の健康」講演会の開催

若いあなたを突然おそう現代病 !!

あなたの脳年齢はいくつ？

11月12日（日）に岐阜大学院医学系研究科講師 藤田雅文先生をお招きし脳の老化について講演会を開催しました。スライドを用いて老化の状態を分かりやすく、そして面白可笑しく説明をいただきまして、脳の老化は年齢に関係なく進行する話に参加者全員が真剣に聴講しました。参加者の脳年齢を判断するゲーム形式の採点表に一喜一憂のひとときでした。



大好評につき、来年度も是非開催したい楽しい行事でした。

啓発委員長 倉 武

健康づくり教室(第2回)

11月16日 岐阜県健康体育協会 指導員鹿島先生をお招きし、軽快なリズムにあわせて、身体全体を動かす体操で日頃の運動不足を解消しました。

ふれあい委員長 酒向幸紀